

日本カメラ博物館  
2020年 夏休み  
親子で参加！カメラと写真のワークショップ 参加者募集

日本カメラ博物館では、2020年の夏休み期間中に、親子で参加する小中学生向けワークショップを開催いたします。夏休みの思い出づくりや学校の課題にも恰好の材料であり、カメラの仕組みや暗室作業などを学びたい大人でも十分に楽しめる内容です。

●新型コロナウイルス対策について

- ・参加人数を減らして十分な間隔をとり、手指の消毒、検温、換気、スタッフと参加者にマスク着用などを徹底いたします。
- ・当日体調がすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- ・感染状況により開催中止とさせていただきます場合もございます。お申込みの際には必ずご連絡先をお知らせください。

<h2 style="text-align: center;">ペットボトル万華鏡を作って写真を撮ろう</h2>	<p><b>8月1日（土）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●午前の部：午前11時～12時</li> <li>●午後の部：午後2時～3時</li> </ul>
<p>ペットボトルを使って万華鏡を作る講座です。 ワークショップ当日は500mlの使用済みペットボトルをお持ちいただき、中に鏡板とビーズなどお好みのオブジェクトを入れて、万華鏡を手作りします。万華鏡を覗いた映像は、お持ちのコンパクトカメラなどで写真を撮って楽しむことができます。 いつもは捨ててしまうものから美しい映像を生み出す、エコにアートを楽しむワークショップです。</p> <p>●500円 ●各部とも・5組10名まで（お子様は2名まで・別途+500円） ●先着順</p>	

<h2 style="text-align: center;">暗室で写真影絵アートを作ろう</h2>	<p><b>8月12日（水）～14日（金）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●午前の部：午前10時30分～12時</li> <li>●午後の部：午後2時～3時30分</li> </ul>
<p>カメラを使わず黒白印画紙に直接光をあて、光と影のコントラストによって影絵のような画像を作る講座です。 暗室で黒白印画紙の上に物体を置いて上から光をあてると、置いた物の影ができます。これを現像液に浸すと、光があたった部分は黒く、影の部分は白くなり、光と影が反転したような不思議な画像ができ上がります。 とても簡単ですが工夫次第でいろいろな絵をつくることのできる、小さなお子様から大人まで好評のワークショップです。</p> <p>●500円 ●各部とも・1組2名（お子様は2名まで・別途+500円） ●先着順</p>	

関連展示

<p>小中学生ワークショップ発表展 自分で写真ができた！</p>	<p>8月12日（水）～30日（日）</p>
<p>2019年に開催されたワークショップ参加者の作品を展示。 ●場所：J C I Iクラブ25（日本カメラ博物館隣 B1F）</p>	

- 受講資格：小中学生とその保護者（必ず保護者同伴でご参加ください）
- 申込方法：博物館で直接受け付け、または電話で受け付け TEL：03-3263-7110
- 場 所：東京都千代田区一番町25 J C I Iビル（日本カメラ博物館隣 東京メトロ半蔵門線半蔵門駅4番出口から徒歩1分）
- お支払：ワークショップ当日の会場にて現金でお支払いください

（注意事項）

- ※参加料はすべて消費税、博物館入館料、諸経費込みです。
- ※詳細な内容は、お申込みいただいた方に後日郵送にてお知らせ致します。
- ※実習の進行は留意して行いますが、不慮の事故・不可抗力に起因する事故に関して、当館では責任を負いません。

お申込み先 日本カメラ博物館 03-3263-7110  
担当：山本・井口・石王